４５　こまの絵付け

青森県立種差少年自然の家

○活動の概要○

見本を参考にしたり模様を考えたりしながら、こまにマーカーで着色します。でき上がったこまで遊ぶこともできます。

１　ねらい

白木のこまに着色し、昔ながらのこま回し遊びを体験させます。

（小学校　図画工作　　中学校　美術）

２　場所・人数・期間・時間

①　場所・人数　プレーホール、大ホール　１５０人以内
自然観察室、小ホール　４０人以内（絵付けのみ）
（１グループ４～８人程度）

②　期間　通年

③　時間　２～３時間

３　職員の支援について

物品貸出し時に職員がつきます。活動支援に入ることはありません。

４　準備物

区　　分	準　備　物	備　考
団　　体	・特になし	
個　　人	・特になし	
自然の家	・テーブルクロス ・新聞紙 ・（こま用土俵）	
斡旋可能	・こまセット （白木のこま、ひも、ペイントマーカー）	・１セット　２４５円

５　引率者の役割分担

係　名	役　　割
代表責任者	・全体の掌握、指揮、連絡にあたる。
救護係	・緊急時の救護にあたる。

６　活動の流れ

①　用具の準備と諸注意
②　つくり方の説明
③　製作
④　まとめ・片づけ
⑤　こま回し・大会など

７　その他

・製作した後にこま回し大会などへ発展させると、さらに楽しい活動になります。
・完全に乾かないままこまを回した場合、床に絵の具が飛び散りますので、絵の具が完全に乾くのを待ってから回してください（絵の具が床につくと、消すことが非常に困難になるため）。

≪資料≫

1　構想をねる。
・自分独自のデザインや色づかいを考える。
・回転することを考慮する。

2　図案化する。
・構想を実際にこまに描く。

3　遊ぶ。
①　回し方
・こまの心棒の上にひもの先の輪をかける。
・こまの下側の心棒に巻きつける。
・右手に持って前方に投げつけ、強く引く。

ひもの先を輪にする

巻きつけたところ

②　遊び方（参考資料あり）
＜り　き＞
・数人で同時にこまを回して誰が一番長い間回ったか競う。
・途中ぶつかるのが面白い。

＜けんか＞
・土俵上で同時に回し、土俵の中に最後まで残ったものが勝ちとなる。
・土俵で止まったり、出てしまったりしたら負けとなる。